



## 【神様の刈り取りの法則】

本日の聖書の本文:ガラテヤ人への手紙6章6-10節/ 暗唱聖句:ガラテヤ人への手紙6章10節

説教者:鄭南哲牧師

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！まだ続いている余寒(よかん)の中で風やインフルエンザや肺炎などみんなお疲れ様です。仁君からはじめマリヤ会の方々の霊肉と共に守られ、主の平安と健康であるように切にお祈り申し上げます。

しかし、この寒さが終ると、すぐ生き返る春になり、桜が満開して良いなと思ったら、すぐ蒸し暑い夏になるでしょう。この暑さが続くのかと思うと、涼しい風が吹いて来て収穫の季節秋を迎えることになって行くでしょう。

多くの方々が秋がおすきな理由には一年苦労した分の実が結ばれ、刈り入れができる時期だからだと思います。

まだ早いかもしれませんが、みなさんは今年中には信仰の生活の中で、家庭で、お仕事の中でどんな豊かな実を結びたいと、何を多く刈り取ることを期待し、望んでいるのでしょうか。

イエス様はヨハネの福音書15章8節に“あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。”と語って下さいました。

今日の聖書の本文はクリスチャンの人生は価値ある尊い刈り取りのために覚えるべき3つの重要な教訓を下さっています。今年も美しい、豊かな収穫のために覚えるべきその3つのことは何でしょうか。

### 1.神様の刈り取りの原則をいつも覚えておくことです。

愛するみなさん、神様の刈り取りの原則は何ですか。本文7節に、“人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。”という御言葉がその大原則です。このような事を因果(いんが)の原則だと言われています。

事実、この原則は聖書が強調している真理だけではなく、みんながよく常識的に、普遍的に知っている人生の原理だと分かっています。それにもかかわらず実際私たちが一番生活の中で、特に信仰の生活の中でもすっかり忘れて、見逃してしまう時が多いのではないかと思います。

多くの人々が感謝を失って、言い捨てる不平不満の大部分は種をまかない中で刈り取ろうとする間違った心構えが原因になる時が多くあります。待たずに、あせて楽に自分の願っている成功と結果だけを見ようとするため、過程の中で払うべき自分の犠牲や苦労、苦痛、葛藤から避けようと、逃げようとただ容易い方法ばかり考えてしまう傾向があります。そのため、その分回りの人がどう苦労しても自分じゃないから、関心もなく、まわりに気を配ろうともしません。別に過程の方法が正しいかどうかにも気にせず、結果だけが重要だと思ひ込んでいます。信仰生活もそうでしょう。何か苦労しながら信仰の生活、教会の生活、御言葉の生活をしながらひたすら神様の祝福のみを刈り取ろうと望むことはイエスキリストの十字架無しにただ栄光のイエス様の復活だけを望もうとすることと同じではないでしょうか。しかし、苦しいイエスキリストの十字架があるがゆえに、栄光にかがやいた勝利のイエス様のよみがえりがあったことを私たちはもう一度深く覚える必要があります。

あの有名なタラントのたとえ話でイエス様は蒔かないで刈り取ろうとする人に対して悪い怠け者(マタイ25:14-30)だと怒られました。預けられた1タラントでよいいな苦労もしたくないからただ地の中に埋めておきっぱなしで何の実を結ぶこともなかったしもべは主人が帰って来ると、“あなたはひどい方です。あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさないところから集める方であることをわかったいた。”と言ひ訳をしました。もちろん、このしもべの話が完全に間違ったわけではありません。

私たちが信じている主である神様、イエスキリストは無から有を創造された創造主であり、全能の神様ですから、当然蒔かないところから刈り取ることがおできになる方ですから、いくらでも人に不可能な奇跡を起こすことのできる十分なお方です。

しかし、神様はご自身の基準で特別な場合じゃなければ、我々の日常の生活の中で奇跡の原則よりこの刈り取りの原則をいつも適用される事実を忘れてはいけません。つまり、蒔いた通りに刈り取るようにさせるお方であると言うことです。

なので、私は個人的に詩篇126篇5-6節がとっても好きです。“涙とともに種を蒔く者は、喜び叫びながら刈り取ろう。

種入れをかかえ、泣きながら出て行く者は、束(たば)をかかえ、喜び叫びながら帰って来る。”

愛するクリスチャンプレイズチャーチのみなさん！

今日多くの人々の不平不満の声を良く聞いて見て下さい。理由は何ですか。

自分は今まで背一杯頑張ってたたくさん蒔いたのに、結果望んだ実が少ないとつぶやきます。良いもので自分はたくさん犠牲を払いながら植えたのに、結局悪いことばかり刈り取ったとつぶやきます。自分はいつも正しくやって来たのに、神様は自分の見方にはならず、何にも助けて下さらなかったとつぶやきます。

しかし、みなさん、それが本当なんでしょうか。

今日の本文の7節にはこう書かれています。

“思い違ひをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。”

自分をだましてはいけないと言われます。神様はだます方でもなく、だまされる方でもありません。その方は人が植えたもの、何でも蒔いたそのものを結局には刈り取るようにされます。私たちクリスチャンたちはこぼれざいわいを願ってはいけません。神様が喜ばれないからです。

蒔かないで刈り取ろうとする誘惑に陥ってはいけません。ロットみたいな宝くじなども買うのも、期待もしてはいけません。信仰も同じ原則です。祈りも同じでしょう。祈らないで、神様のこたえと特別な助けを期待できないのと同じ原則だと思います。神様の御言葉を学ばず、黙想せず、キリストにあって霊的に強く、豊かに生きようとするのはこぼれざいわいを願うのと同じだと思います。神様の御前で礼拝をささげないのに、神様を愛し、仕えていると言うのは正しくありません。神様の収穫の原則は蒔いた分だけ刈り取るという事実をもう一度心に刻むべきだと信じます。

## 二つ目、収穫には二つの種類があることを覚えましょう。

本文の8節を読んでみると、“自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。”と書かれています。つまり、収穫には自分のための肉の収穫があり、神様のための収穫があるということです。自分の肉のための収穫は結局くさるものを刈り取るむなしい収穫であり、神様のための収穫は永遠に残るものを刈り取る栄光の収穫です。

この世は二つの種類の人があります。自分の肉体のためにただひたすら蒔く者がいて、御霊のために、神様のために蒔く者があります。ここで、私たちが勘違いしてはいけないことは肉体のために蒔く者はクリスチャンではなく、御霊のために蒔く者はクリスチャンですか。そうではありません。イエス・キリストを受け入れたクリスチャンだとしても御霊ではない肉の支配を受けて自分の肉ばかりのために生きる場合もあります。自分の本能、欲望のまま、自分だけのために生きるなら、その人は肉の支配の中にあります。そんな人生は結局、くさるものしか刈り取るものはないと聖書は教えて下さっています。しかし、もう一つの種類の人生があります。御霊のために蒔く者、御霊の導きを受ける人、御霊のくださる望みと期待に従って、聖霊に満たされて生きる人です。今日の本文であるガラテヤ人への手紙5章は二つの種類の人対照的に描かれています。いったい何が人の生き方をこんなに対照的に変えてしまうのでしょうか。私はその原因は生きる目標にあると思います。いまみなさんの人生の目標は何でしょうか？

例)いまから約110年前、北ヨーロッパで商売をしてたくさんのお金をもうけた人がいました。彼の目標はただたくさんお金を儲けることでした。彼は手段と方法を問わず、商売をして人生の目標の通りに大金持ちになりました。そんなある日、朝刊(ちょうかん)新聞に自分の記事が載っていることに気づきました。それは自分がもう死んだという新聞社の間違った訃報記事(ふほうきじ)だったのです。本当は彼の兄が死んだのに、彼が死んだことになってしまったのです。はじめは新聞社宛てに告訴(こくそ)しようとしたのですが、ふっと自分の死に対する世間の反応がどうか気になりました。しかし、彼の訃報とともに彼に対する説明の記事はあまりにも早く終わっていました。

“ダイナマイト製造業(せいぞうぎょう)でおそろしい破壊力を世に紹介した金持ち死んだ。”この記事が全部でした。彼はこの記事を読んでショックを受けました。‘今までお金もたくさん稼ぎ、一生懸命に生きてきたのに、自分がこの世に残したのは破壊的な武器だけだったのか。このまま自分の人生を終えるわけにはいかない！’

彼はその日から人生の目標を変えました。‘破壊的ではなく生産的に世に残すものはないか?’ 悩んだすえ、彼は自分の全財産を寄付して世界の平和を定着させるための平和財団(へいわざいだん)を設立します。これがあの有名な賞であるノーベル平和賞の背景だったのです。そして、この話の主人公はノーベルという人物でした。彼は自分の人生の末を考えて見るきっかけを通して人生の目標を改めて変えることができたのです。

## <御霊の働き、善を行なうための目標>

みなさんは生きておられる神様の御前で人生の最後の日に何を刈り取りたいと願っていますか。それを刈り取るためにいまの生きる目標をどこに置いていますか。そしてその目標は神様のために、そして、他の人のためにも良いことでしょうか。

本文の9-10節によると、パウロは御霊のために蒔くことは善を行なうことだと言っています。パウロは良い行いによって救われることではありませんが、救われた人々は良い行いに励むべきだと言っています。なぜなら、神様が自分を救った下さったのはその良い行いをするためだった彼は信じていたからです。

エペソ人への手紙2章8-9節にはこう書かれています。

“あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行ないによるものではありません。だれも誇るものがないためです。”

そうです。決して良い行いによって救われる人はだれもいません。そのようにして救われる道があるなら、イエス様がわざわざこの地に来られる必要はなかったでしょう。しかし、次の10節をみてください。

“私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。”

我々は神様の恵みによってイエスキリストを信じる事によって救われたのであって、人の行いによって救われたものではありません。それにもかかわらず、主が我々の罪を赦し、救って下さって神様の子とてくださったのはキリストイエスにあって良い行いをするためだったのです。神様はみなさんと私の人生において良い行いを備えて下さっています。みなさんは自分の人生をささげる良い目標を見つけましたか。

ピリピ人への手紙1章6節には、“あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は固く信じているのです。”書かれています。

神様が我々を救ってくださった理由はただ自分だけがイエスを信じて天国に行けるようにだけではありません。もちろん、

それもとても大切です。しかし、主は我々が自分を越えてさらに神様のため、他の人々のため良い行いをするために我々を救ってくださったのです。

パウロは良い目標に向かって走る人生、良い実を刈り取る人生となることを切に祈りつつ、確信していました。

コロサイ人への手紙1章にはこの良い行いがどれほどパウロの人生を占めていたのかよく表されています。

“また、主になつた歩みをして、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる善行のうちに実を結び、神を知る知識を増し加えられますように。(10節)”

パウロには伝道の使命以外にも、ほかの目標がありました。ガラテヤ人への手紙2章10節“ただ私たちが貧しい人たちをいつも顧みるようにとのことでしたが、そのことなら私も大いに努めて来たところです。”

ですから、使徒パウロをただ伝道の使徒だっと思っはけません。使徒パウロは福音を伝える伝道と宣教の以外、貧しい人たちを顧みることも大切にしていた愛の使徒でもありました。この貧しい人というのは、疎外された人々、助けを必要としている人、孤独な人、貧しい人々、キリストの愛で顧みるべき人々を言います。これがパウロが持っていたもう一つの良い目標でした。

ですから、みなさん、礼拝、伝道だけではなく、このような愛の仕え、助け、支え、思いやりも御霊の働きであり、御霊のために蒔くことであることを忘れてはけません。牧師だけの働きではなく、神様のために救われた我々みんなが行なうべきことです。

今みなさんにもイエスキリストの愛を持って顧みるべき、表すべき、分け与えるべきこの良い目標があるでしょうか。

特に本文の6章9-10節には特に信仰の家族の人たちにもっと善を行なうようにとすすめています。ただ、自分の家族だけのためではなく共に教会に通っている信仰の兄弟、姉妹たちをもっと愛をもって仕えようとする良い目標を立ててみようではありませんか。

“自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取る。”

一生懸命走ってきたようだが、人生の末で振り返って見て主の御前で精算される時、主から与えられた人生、いのち、健康、お金、時間、自分の信仰を自分だけのために生きて来ただけでは何も残るものがないのです。これよりむなしい人生はあるでしょうか。

“世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行なう者は、いつまでもながらえます。(第一ヨハネの手紙2章17節)”

という御言葉を覚えてお起きましょう。

### 三つ目、神様の良い行いのための収穫には忍耐の時期が必要であることを覚えましょう。

本文の6章9-10節です。

農作の場合、種を蒔いた後、どんなに長くても1年以内にはかならず、実を刈り取ります。しかし、霊的収穫、愛の収穫の場合は少し違います。人を愛することはどんなに努力してもすぐには結果が表されません。伝道もたやすくありません。しかし、一人が信じて、洗礼まで受けたとしてもその魂をかえりみ、信仰にあって成長するまで愛で支えつつ、仕えて行くことは決して簡単にできるものではありません。

そういうわけで、今日の御言葉に善を行なう人にならずやってくる落とし穴があります。それは落胆という失望です。

弱い人のためにどんなに一生懸命に頑張っても結果が見えない時、我々はこう考えます。‘こんなことを続けてやる価値はあるのか。?’と疑います。しかし、愛をもって善を行なおうとする人々はこの内面的な問題をかならず克服しなければなりません。なぜなら、神様の時が来たら、かならず、実を刈り取らせるからです。

ヘブル人への手紙12章3節には“あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。”と励ましています。

イエス様も素晴らしい実を見るまで十字架の苦しみを忍ばなければならなかったように、我々が愛と善を行なう時も悲しみもあり、いたみもあり、誘惑もある時もあるでしょう。苦しみもあるでしょう。変化や実が見えず、疲れ果てて落胆する時もあるでしょう。しかし、主から与えられる実を期待しながら、今日も、今年も耐えるように頑張りましょう。

今は結果が表されてないかも知れませんが、我々の善行(ぜんこう)が今すぐには報われないかも知れませんが、そういうわけで今日が不満かも知れませんが、しかし、信仰の目を開けましょう。そしてみなさんの愛の奉仕と良い行いの結果を報いてくださる主をみあげましょう。その主を期待しましょう。その主を信頼しましょう。共に我々が今日の苦しみと痛みを耐えながら主がくださる豊かな収穫を期待することができるなら、我々を困らしているもどかしい状況においても我々は主にこう告白できるでしょう。

“主よ。感謝します。また種を蒔けるこの良い行いに参加させてくださった神様を賛美します。私は今日も続けて種を蒔きます。そして、あなた御自身がかならず実を刈り取るようにさせてくださることを信じます。”

この偉大な神様の収穫のビジョンをともに見上げ、今年も豊かな神様のために良い実をたくさん結ぶクリスチャンプレイズの教会のみなさんの人生、家庭、我々の教会となりますよう主の御名によって祝福します。アーメン!!!

## 【アメリカHarvard Universityの図書館に貼ってある名文30訓】



01. Sleep now, you will be dreaming, Study now, you will be achieving your dream.  
今寝ると夢を見るが、今勉強すると夢が適えられる。
02. Today that you wasted is the tomorrow that a dying person wished to live.  
私が無駄に過ごした今日は昨日死んだ人が渴望していた明日である。
03. When you think you are slow, you are faster than ever. 遅れたと考えた時こそ一番早い時だ。
04. Don't postpone today's work to tomorrow. 今日やるべき事を明日に伸ばすな！
05. The pain of study is only for a moment, but the pain of not having studied is forever.  
勉強の時の苦痛は若干ですが、学ばされてない苦痛は一生だ。
06. In study, it's not the lack of time, but lack of effort. 勉強の時間が足りないからではなく、努力が足りないだけだ。
07. Happiness is not proportional to the academic achievement, but success is.  
幸福は成績順ではないかも知れないけど、成功は成績順だ。
08. Study is not everything in life, but if you are unable to conquer study that's only a part of life, what can you be able to achieve in life? 勉強が人生の全てではない。しかし、人生のすべてでもない勉強一つ征服できなければ、いったいどんなことができるのか。
09. You might as well enjoy the pain that you can not avoid. 避けられない苦痛は楽しみ！
10. To taste success, you shall be earlier and more diligent. 他の人よりもっと早くもっと勤勉に努力すれば、成功を味わえる。
11. Success doesn't come to anyone, but it comes to the self-controlled and the hard-working.  
成功はだれもができることではない。徹底的な自己管理と努力による事だ！
12. The time never stops. 時間は止まらずたつ。
13. Saliva you drooled today will be tears falling tomorrow. 今垂らしたよだれは明日流す涙になる。
14. Study like a dog and play like a premier. 犬のように勉強して、国の体表のようにあそぼう！
15. Pursue the top. The maximum endeavor. And to the beginning for the effort of the maximum for a top intend.  
最高を追求しなさい。最大限努力しなさい。そして、はじめには最高のため、最大の努力のために祈りなさい。
16. A person who invest in tomorrow, is the person who is faithful to today.  
未来に投資する人は今日の現実にも忠実な人である。
17. The academic clique is money itself. 学閥はお金そのものだ。
18. Today never returns again tomorrow. 送った今日という一日は明日二度も来ないんだ。
19. At this moment, your enemies books keep flipping. 今この瞬間にも敵たちは本のページをめくっている。
20. No pains No gains. 苦痛がないと手に入れるものもない。
21. Dream is just in front of you. Why not stretch your arm.  
夢があなたのすぐ前にあるのに、なぜあなたのうでをのばさないのか。
22. If you close your eyes to the present, the eyes for the future close as well.  
今の現実に目をつぶってしまったら、未来に向う目も閉じてしまう。
23. Sleep instead of dozing. 居眠りしないで、ちゃんと寝なさい。
24. Academic achievement is directly proportional to the absolute amount of time invested.  
成績は投資した時間の絶対量に比例する。
25. Most great achievements happen while others are sleeping. 一番偉大な事は他の人たちが寝ている間成就される。
26. Just before the examination, how desperate would you feel the time you are wasting now.  
テストの直前の時どれほど無駄に過ごした時間が切実に感じられる。
27. Impossibility is the excuse made by the untried. 不可能というのは努力しかかった人の弁明にすぎない。
28. The payoff of efforts never disappear without redemption. If you don't walk today, you have to run tomorrow.  
努力の代価は理由なくなくなる。今日歩かないと明日走らなければならなくなる。
29. One more hour of study, you will have a better husband. 一時間もっと勉強すれば、もっと良い相手と出会える。
30. To lose your health is to lose all of yourself. 健康を失うと、すべてを失うのだ。